

新穂  
資料館 友の会だより  
第六十五号

『兵庫哲郎』水彩画展  
—自然と暮らしの風景—

展示期間

令和8年4月18日（土）から

5月17日（日）まで

作品解説会 5月3日（日）午前10時

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

影響を受けた画家といえば、アンドリューワイエスと吉田博とおっしゃる兵庫さん。ご自身からプロフィールデータを頂戴しました。紙面の都合により、申し訳ありませんが抜粋して掲載いたします。

1952年 佐渡市真野町に生まれる  
1976年 多摩美術大学デザイン科卒  
2003年 大日本印刷(株)退社  
神保町で猫の水彩画展を開催  
2004年 市川市水彩画サークル「みずゑの会」講師

2009年 船橋市読売カルチャースクールの講師  
2010年 東京京橋で風景水彩画と海外スケッチツアー帰国展を開催  
2011年 佐渡市市野沢にUターン転居水彩教室「佐渡みずゑの会」を開き、現在に至る  
2014年 新潟市美術館市民ギャラリーにて風景水彩画展  
2017年 東京京橋ギャラリー「ぴーた」にて佐渡の風景水彩画展  
2022年 アミューズメント佐渡にて「四季の彩」水彩画展  
2025年 東京ギャラリー「くぼた」にて水彩画展

一般社団法人「水彩人」会員  
新潟多摩美会会員

佐渡の豊かな春から初夏。資料館の周囲も萌え出た浅緑に包まれます。少しお時間を割いて美術鑑賞はいかがでしょう。

好評開催中

『渡辺昭子』写真展

展示期間

令和8年4月5日（日）まで

渡辺昭子さんの写真展が佳境です。新穂のアマチュア写真界をリードされてきたお一人と思います。この「資料館だより」がお手元に届く頃には、展示期間も残り少なくなっているかと思えます。この機会をお見逃し無く、ご来館をお待ちしております。

（稲穂のつぶやき）

〇〇仕舞いをする、と話すことが多くなった。寂しさを拭いきれないが、始末のつかないままにするのはもつと気が引ける。

二月、「資料館友の会」は、もう少し頑張ってみようと役員総会を開きました。ご意見・ご要望も含めて皆様のお力をお寄せください。

「友の会だより 第六十四号」で「兵庫哲郎」さんのお名前を「哲朗」と誤って記載してしまいました。深くお詫び申し上げます。訂正いたします。（若）

新穂歴史民俗資料館

0259(22)3117

※入館料 大人200円 小中学生100円  
※月曜休館・入館は午後4時半まで

（月曜祝日の場合は翌日休館）  
【令和8年3月10日 発行】